

# 行政視察報告

1月～2月に実施した行政視察の内容をご報告します。

## 文教福祉常任委員会

1月30日～2月1日

### 《山形県新庄市》

新庄市では「小・中一貫教育校 萩野学園」について視察しました。小・中学校施設一体型で9年生を4・3・2ブロック制でエリア分けしており、各教科教室等についても9学年までの授業時数の多さ・指導内容の違いに対応するために、複数の教室を配置したものになっております。当市でも小中一貫教育のような系統的で継続的な教育システムづくりも必要ではないかと感じました。

### 《秋田県能代市》

能代市では「複合施設能代ふれあいプラザ」について視察しました。能代市ふれあいプラザの建設は、急激な高齢化の進展や中心市街地の空洞化への対応などの課題解決のため重点施策として、1階には保育所等の子育て関係施設、2階には地域包括支援センターなどの介護施設、3階から8階は市営住宅といった、子供から老人まで交流できる複合施設です。

### 《秋田県大館市》

大館市では「ふるさとキャリア教育」について視察しました。その中でも「子どもハローワーク」を設置することにより、社会の「ほんもの」に直接ふれる職場体験は、子どもたちの多様な進路の可能性を広げるとともに、企業や大人の意識及び地域社会を変えることにも繋がってきているとのことでした。

### 《青森県弘前市》

弘前市では「地域子育て支援事業」について視察しました。弘前駅前前の閉鎖していたビルを再開発する際に、3階フロアに子育て支援施策の拠点を設け、それに加えて子育て世代の集客によりにぎわいの創出にも貢献する施設として開設されました。子育て支援センター、遊び場、託児所等を設けており安心して子育てができるスペースとなっています。



弘前市での行政視察の様子

## 議会運営委員会

2月1日・2日

### 《岩手県滝沢市》

滝沢市議会では、平成26年1月から通年議会を実施しております。通年議会の効果として、年間を通じて持続的な政策議論が可能となり、市民の声を議会活動に反映しやすくなることなどがあげられました。

議会報告会・意見交換会については、ワークショップ形式での開催など参加した市民が話しやすい環境づくりや興味の湧く内容づくりなどの点で工夫をしており、その結果、参加者についても微増傾向にあるとのことでした。

また、議会自らが議会改革の取組について評価を行う「議会評価」を毎年行うなど、議会改革に積極的に取り組んでおりました。

### 《岩手県北上市》

北上市議会では、平成27年12月から通年議会を実施しております。通年議会の効果として、委員会活動など議会活動が年間を通して可能となったことなどがあげられ、より活発な委員会活動に結びついているとのことでした。

議会報告会・意見交換会については、「地区別」

と「テーマ別」の2通りの方法での開催やワークショップ形式での開催、土・日曜日での開催など市民が参加しやすい環境を検討し実施しているとのことでした。また、幅広い年代・性別の市民の声を聴くため、高校生や女性団体等との意見交換会も実施しており、積極的に広聴活動に取り組んでおりました。

また、市民にわかりやすい議会の実現のため、議会モニター制度を実施し、議会傍聴や議会だよりなどを通じ意見を出してもらい、それらの改善に繋がっております。

さらに、議案審査にタブレット端末を導入するなど議会のICT化についても推進しておりました。

今回の視察については、当市議会の議会改革を更に進めていく上で、議会運営や市民参加の視点に立った取り組みに関して、参考とすべき点が数多くあった、非常に有意義なものとなりました。



北上市議会での視察の様子

# 政務活動費

平成29年度収支状況をお知らせします

各会派が提出した収支報告書等の関係書類は市議会ウェブサイトでもご覧いただけます。

- 政務活動費とは、地方自治法・条例等の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付するものです。
- 二本松市議会では、会派に対して1人当たり月額1万円を交付しています。
- 支出残額がある場合には、市に返還しています。

(単位：円)

会派名	市政刷新会議	真誠会	あぶくま会	市政会	日本共産党 二本松市議団	公明党	小野利美	野地久夫	計
結成年月日	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H29.11.30	H27.8.13	
会派構成	平栗征雄 斎藤周一 佐藤連喜 本多勝実 加藤建也 鈴木一弘 (6名)	五十嵐勝蔵 佐藤 有 堀龍新一 本多俊昭 平塚興志一 深谷勇吉 (6名)	佐藤源市 浅川吉寿 高橋正弘 石井 馨 斎藤賢一 (5名)	菅野寿雄 安齋政保 熊田義春 (3名)	斎藤広二 菅野 明 平 敏子 (3名)	小林 均 (1名)	小野利美 (1名)	野地久夫 (1名)	
会派への交付額(A)	720,000	720,000	600,000	360,000	360,000	120,000	40,000	120,000	3,040,000
会派の支出合計(B)	520,464	762,810	580,874	231,996	493,884	120,630	0	22,856	2,733,514
内 訳	調査研究費 (調査先等)	243,000 <small>(株)グリーン発電 会津、磐梯町、山形 県米沢市、宮城 県色麻町、シェル コムせんだい</small>	546,810 <small>愛媛県松山市、 丸亀市、徳島県 徳島市、つるぎ 町</small>	433,562 <small>長崎県長崎市、 雲仙市、(株)み ずなし本陣、熊 本県玉名市・佐 原農産物供給 センター、千葉 県野田市</small>	83,982 <small>岩手県一関市、 オガール紫波 (株)</small>			11,300 <small>(株)グリーン発電 会津、磐梯町、山 形県米沢市、宮 城県色麻町、シ ェルコムせんだい</small>	1,318,654
	研修費					107,130			107,130
	広報費	268,218	216,000	147,312	142,830	493,884			1,268,244
	資料作成費	2,280						11,556	13,836
	資料購入費	6,966			5,184		13,500		25,650
収支差引(A-B)	199,536	-42,810	19,126	128,004	-133,884	-630	40,000	97,144	306,486
会派の自己負担額	0	42,810	0	0	133,884	630	0	0	177,324
市への返還額	199,536	0	19,126	128,004	0	0	40,000	97,144	483,810

## 予算・決算審査のポイントは 2月7日 平成29年度市議会議員研修会

講師に一般社団法人財政デザイン研究所の大和田一紘氏をお迎えし、「二本松市の財政分析と今後の課題～予算・決算審査の視点」と題して講演をいただきました。

講演では、財政の統計資料から各自治体の財政状況を分析するポイントなど実際に資料を使って解説がありました。また、類似団体と比較することによって、自分たちの自治体の財政運営の特徴を捉えることができるということ。

厳しい財政状況の中、総合計画に沿っていろいろな事業をいかに効率的に成果を上げることができるか、チェック機能が重要であることを学びました。



市議会議員研修会の様子

### お知らせ

- ◎次回の定例会は6月開会の予定です。皆さまお気軽に傍聴においでください。
- ◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先

〒964-8601 二本松市金色403番地1  
市議会だより編集委員会  
TEL 55-5143 (議会事務局)  
FAX 22-6047  
E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp

議場を見学しました



1月30日  
石井小6年生のみなさん  
(見学当時)